

7～9月期の業況は改善

【特別調査】 - 「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業の対応について」

【調査要領】

調査時点：2020年9月上旬
 調査対象：西兵庫信用金庫お取引先102社
 調査方法：調査票を用いた面接による聞き取り調査
 調査企業数：102社
 調査票回収：102社
 調査対象地域：西播磨地域（宍粟市、相生市、赤穂市、たつの市、揖保郡、赤穂郡、佐用郡）

分析方法：D.I. (デフュージョン・インデックス) による分析
 景気の方角感を判断するために使う指数。各質問項目で、「良い」と答えた割合から、「悪い」と答えた割合を引いて算出する。

(例)

	良い	普通	悪い	合計
回答数	10	5	5	20

(良い)50% - (悪い)25% = (D.I.)25

回答企業の業種別内訳

業種	回答企業数
製造業	32
卸売業	11
小売業	17
サービス業	19
建設業	18
不動産業	5
総計	102

全業種総合

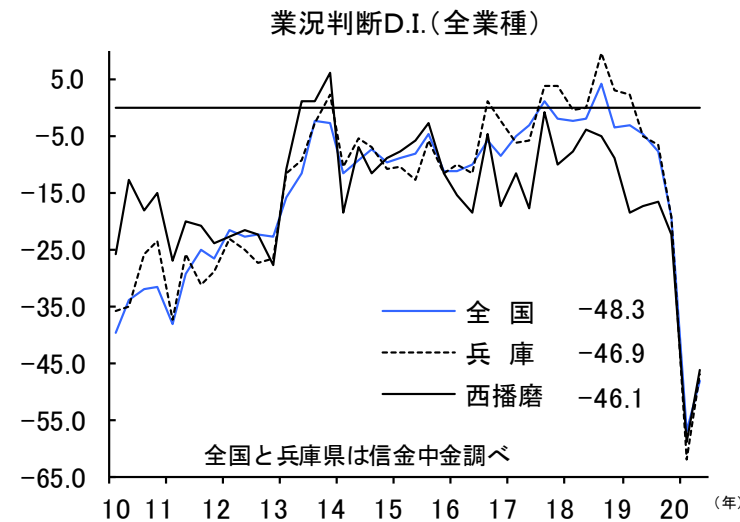
～景況感は改善～

20年7～9月期(今期)の業況判断D.I.は△46.1と、前期比12.7ポイント改善した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業が1.9ポイント上昇し、「悪い」と回答した企業の割合が10.8ポイント低下したことによる。

前年同期比の売上額判断D.I.は△51.0と前期比13.7ポイント上昇し、同収益判断D.I.は△47.1と前期比12.7ポイント上昇した。

業種別の業況判断D.I.は、製造業・小売業・サービス業・建設業・不動産業が上昇した一方、卸売業は低下した。

全国の業況判断D.I.は△48.3と前期比8.6ポイント改善、兵庫県では△46.9と同15.0ポイント改善した。

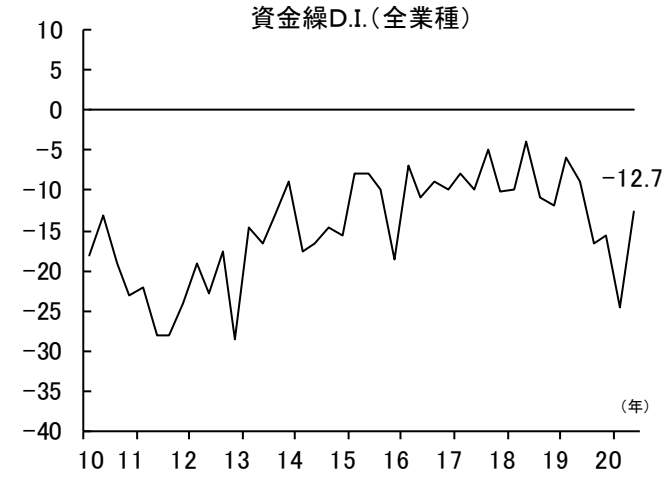


【業種別天気図】

過去4四半期の業況判断D.I.を平均して判定

業種名	2020年4～6月	2020年7～9月	2020年10～12月(見通し)
総合	☔	☔	☔
製造業	☔	☔	☔
卸売業	☔	☔	☔
小売業	☔	☔	☔
サービス業	☔	☔	☔
建設業	☔	☔	☔
不動産業	☔	☔	☔

天気図の凡例: 快晴(☀️), 晴れ(☀️), 晴れ時々曇(☁️), うす曇(☁️), 曇(☁️), 雨(☔), 大雨(☔). 好調← (晴れ), →低調 (大雨)



～販売価格判断D.I.は上昇・仕入価格判断D.I.は上昇～

販売価格判断D.I.は△4.9と前期比8.8ポイント上昇した。仕入価格判断D.I.は1.0と前期比7.9ポイント上昇した。

～資金繰り判断D.I.は低下～

資金繰り判断D.I.は△12.7と、前期比11.8ポイント改善した。業種別では、製造業が前期比18.7ポイント、小売業が同11.8ポイント、サービス業が同5.2ポイント、建設業が同11.1ポイント、不動産業が同20.0ポイント改善した。卸売業は横ばいとなった。

～人手過不足判断D.I.は、人手「不足」感が強まった～

雇用面では、人手過不足判断D.I.が△5.9(マイナスは人手「不足」超)と前期比3.0ポイント低下した。残業時間判断D.I.は△23.5と、前期比22.5ポイント上昇した。残業時間が「減少」したとする企業の割合が低下したことによる。

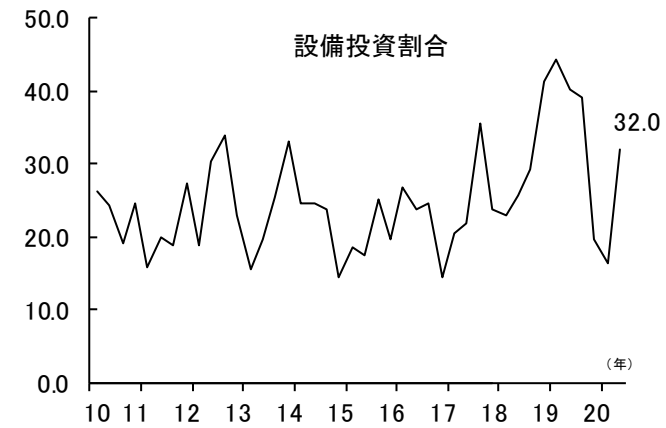
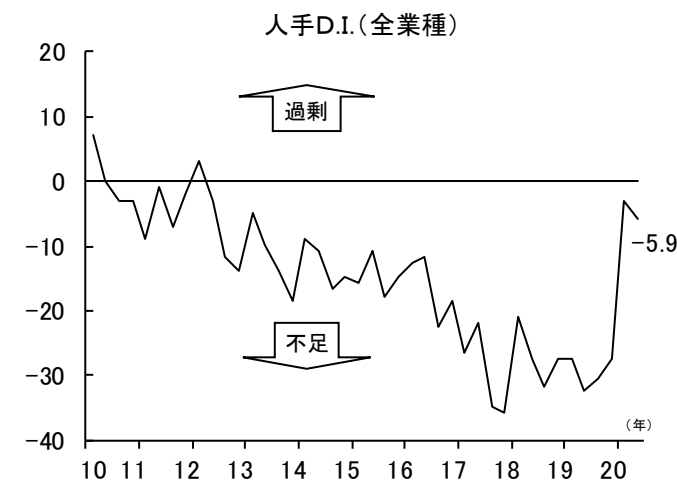
～設備投資実施企業割合は上昇～

設備投資実施企業割合(不動産業を除く企業のうち設備投資を実施した企業の割合)は32.0%と、前期比15.5ポイント上昇した。

～来期の景況感は今期実績比僅かに改善する見通し～

来期の予想業況判断D.I.は△44.1と今期実績比2.0ポイント改善する見通しとなっている。

業種別の予想業況判断D.I.は、卸売業が今期実績比18.1ポイント、建設業が同11.1ポイント、不動産業が同20.0ポイント改善する見通しである。一方、製造業が今期実績比6.3ポイント、サービス業が同5.3ポイント、それぞれ低下する見通しである。小売業は横ばいとなる見通しである。



<経営上の問題点>

経営上の問題点としては、「売上の停滞・減少」が50%、「利幅の縮小」が30%、「人手不足」が20%と多く、その他では「同業者間の競争の激化」が17%、「人件費の増加」が14%となっている。

<当面の重点経営施策>

当面の重点経営施策としては、「経費を節減する」が46%、「販路を広げる」が36%、「人材を確保する」が31%と多く、その他では「情報力を強化する」が19%、「宣伝・広告を強化する」が14%、「教育訓練を強化する」が10%となっている。

経営上の問題点

順位	全業種	割合
1位	売上の停滞・減少	50%
2位	利幅の縮小	30%
3位	人手不足	20%
4位	同業者間の競争の激化	17%
5位	人件費の増加	14%

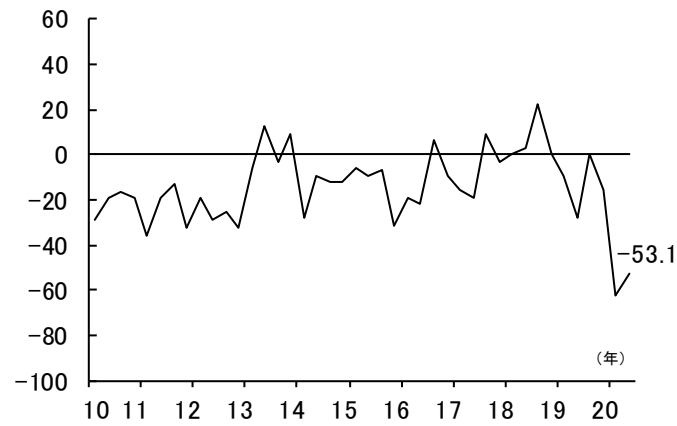
当面の重点経営施策

順位	全業種	割合
1位	経費を節減する	46%
2位	販路を広げる	36%
3位	人材を確保する	31%
4位	情報力を強化する	19%
5位	宣伝・広告を強化する	14%
6位	教育訓練を強化する	10%

訓練を強化する」が10%となっている。

製造業

業況判断D.I.(製造業)



～製造業の景況感は改善～

今期の業況判断 D.I.は△53.1 と、前期比 9.4 ポイント改善した。

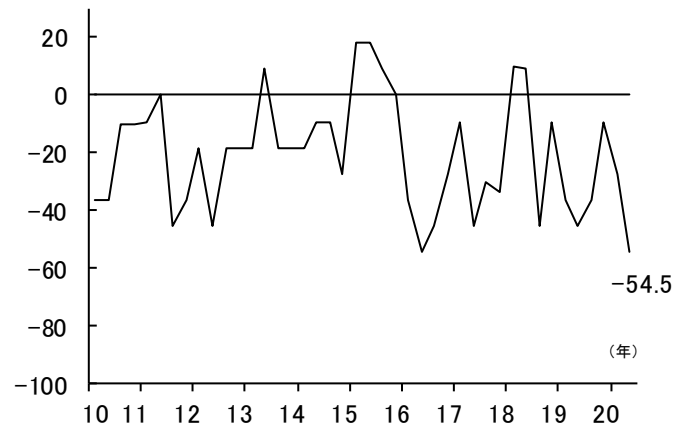
前年同期比売上額判断 D.I.は△53.1 と前期比 12.5 ポイント上昇した。同収益判断 D.I.は△50.0 と前期比 15.6 ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は 21.9%と、前期比 9.4 ポイント上昇した。資金繰り判断 D.I.は△6.3 と、前期比 18.7 ポイント改善した。人手過不足判断 D.I.は、6.3(前期△3.1) と人手不足感は弱まった。

来期の予想業況判断 D.I.は△59.4 と今期実績比 6.3 ポイント低下を見込んでいる。

卸売業

業況判断D.I.(卸売業)



～卸売業の景況感は大幅に低下～

今期の業況判断 D.I.は△54.5 と、前期比 27.2 ポイント低下した。

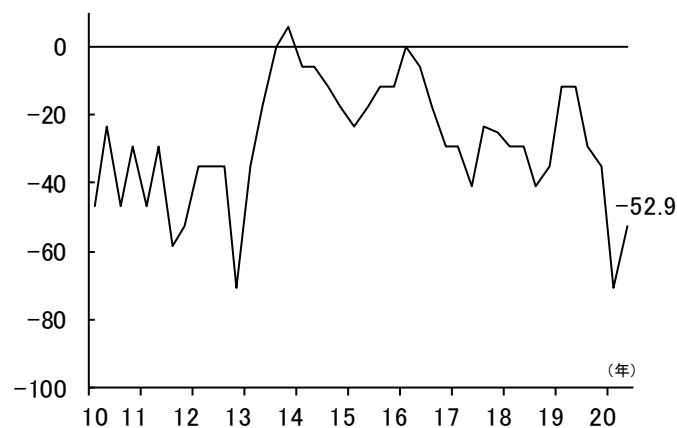
前年同期比売上額判断 D.I.は△54.5 と前期比 27.2 ポイント低下した。同収益判断 D.I.は△54.5 と前期比 36.3 ポイント低下した。

資金繰り判断 D.I.は 9.1 と、前期比横ばいとなった。人手過不足判断 D.I.は 0.0 (前期△27.3) と人手不足感は弱まった。

来期の予想業況判断 D.I.は△36.4 と、今期実績比 18.1 ポイント改善を見込んでいる。

小売業

業況判断D.I.(小売業)



～小売業の景況感は改善～

今期の業況判断 D.I.は△52.9 と前期比 17.7 ポイント改善した。

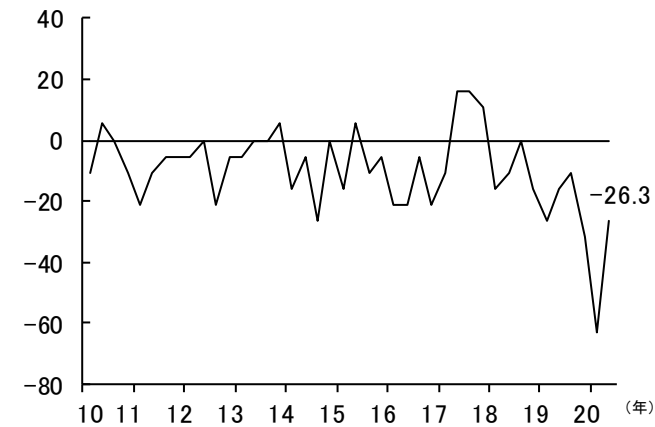
前年同期比売上額判断 D.I.は△58.8 と前期比 17.7 ポイント上昇した。同収益判断 D.I.は△47.1 と前期比 29.4 ポイント上昇した。

資金繰り判断 D.I.は△23.5 と、前期比 11.8 ポイント改善した。人手過不足判断 D.I.は△5.9 (前期 23.5) と人手不足感は強まった。

来期の予想業況判断 D.I.は△52.9 と、今期実績比横ばいを見込んでいる。

サービス業

業況判断D.I.(サービス業)



～サービス業の景況感は大幅に改善～

今期の業況判断 D.I.は△26.3 と、前期比 36.9 ポイント改善した。

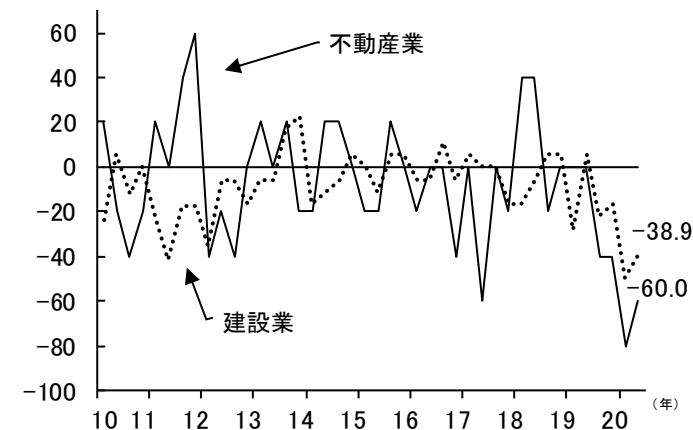
前年同期比売上額判断 D.I.は△36.8 と前期比 36.9 ポイント上昇した。同収益判断 D.I.は△36.8 と前期比 15.8 ポイント上昇した。

資金繰り判断 D.I.は△21.1 と前期比 5.2 ポイント改善した。人手過不足判断 D.I.は△21.1 (前期 0.0) と人手不足感は強まった。残業時間判断 D.I.は△26.3 と、前期比 36.8 ポイント上昇した。

来期の予想業況判断 D.I.は△31.6 と、今期実績比 5.3 ポイント低下を見込んでいる。

建設業、不動産業

業況判断D.I.(建設・不動産業)



～建設業の景況感は改善～

今期の建設業の業況判断 D.I.は△38.9 と前期比 11.1 ポイント改善した。前年同期比売上額判断 D.I.は△44.4 と前期比 16.7 ポイント上昇した。同収益判断 D.I.は△38.9 と前期比 22.2 ポイント上昇した。受注残判断 D.I.は△11.1 と、前期比 27.8 ポイント上昇した。

資金繰り判断 D.I.は△16.7 と、前期比 11.1 ポイント上昇した。人手過不足判断 D.I.は、△5.6 (前期△16.7) と、前期比 11.1 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。来期の予想業況判断 D.I.は△27.8 と、今期実績比 11.1 ポイント改善を見込んでいる。

～不動産業の景況感は改善～

不動産業については、調査対象先の少なさを考慮する必要があるが、今期の業況判断 D.I.は△60.0 と前期比 20.0 ポイント改善した。前年同期比売上額判断 D.I.は△80.0 と前期比横ばいとなった。同収益判断 D.I.も△80.0 と前期比横ばいとなった。資金繰り判断 D.I.は△20.0 と、前期比 20.0 ポイント改善した。在庫過不足判断 D.I.は 0.0 と、前期比 20.0 ポイント低下した。来期の予想業況判断 D.I.は△40.0 と、今期実績比 20.0 ポイント改善を見込んでいる。

調査員のコメント

製造業：機械設備の導入により効率化・自動化を図りたいが、コロナ禍の中、踏み出せないでいる。

卸売業：新型コロナウイルスの影響がいつまで続くかわからず不安を感じている。

小売業：インターネット販売の強化を進めている。

サービス業：コロナによりドライブスルーの売上が堅調に推移している。6月からウーバーイーツに登録した。今後売上げとコスト面を検証していく。

建設業：コロナの影響を受け、新築の完成見学会が出来ないので、YouTube 等を利用し PR 活動を行っている。